

2019年5月8日 訂正版

2019年2月期決算説明会

2019年4月15日

自動車流通の変革に挑む
株式会社 IDOM

I. 決算サマリー

II. 業績の詳細

III. 2020年2月期業績予想

IV. 補足情報（1）

V. 補足情報（2）

1. 決算サマリー

2018年2月期

2019年2月期

個別

売上総利益

557.2億円

527.7億円

販管費

487.9億円

500.1億円

営業利益

69.2億円

27.5億円

連結

営業利益

67.7億円

34.0億円

2018年2月期

2019年2月期

連結

営業利益

67.7億円



34.0億円

[個別]

● 小売 商品設計変更による影響

(1) 店舗あたり小売台数減少

(2) 台あたり小売粗利減少

業績への影響
(前期比)



[連結]

● 豪州子会社

(1) Buick業績改善

(2) Essendon新規連結



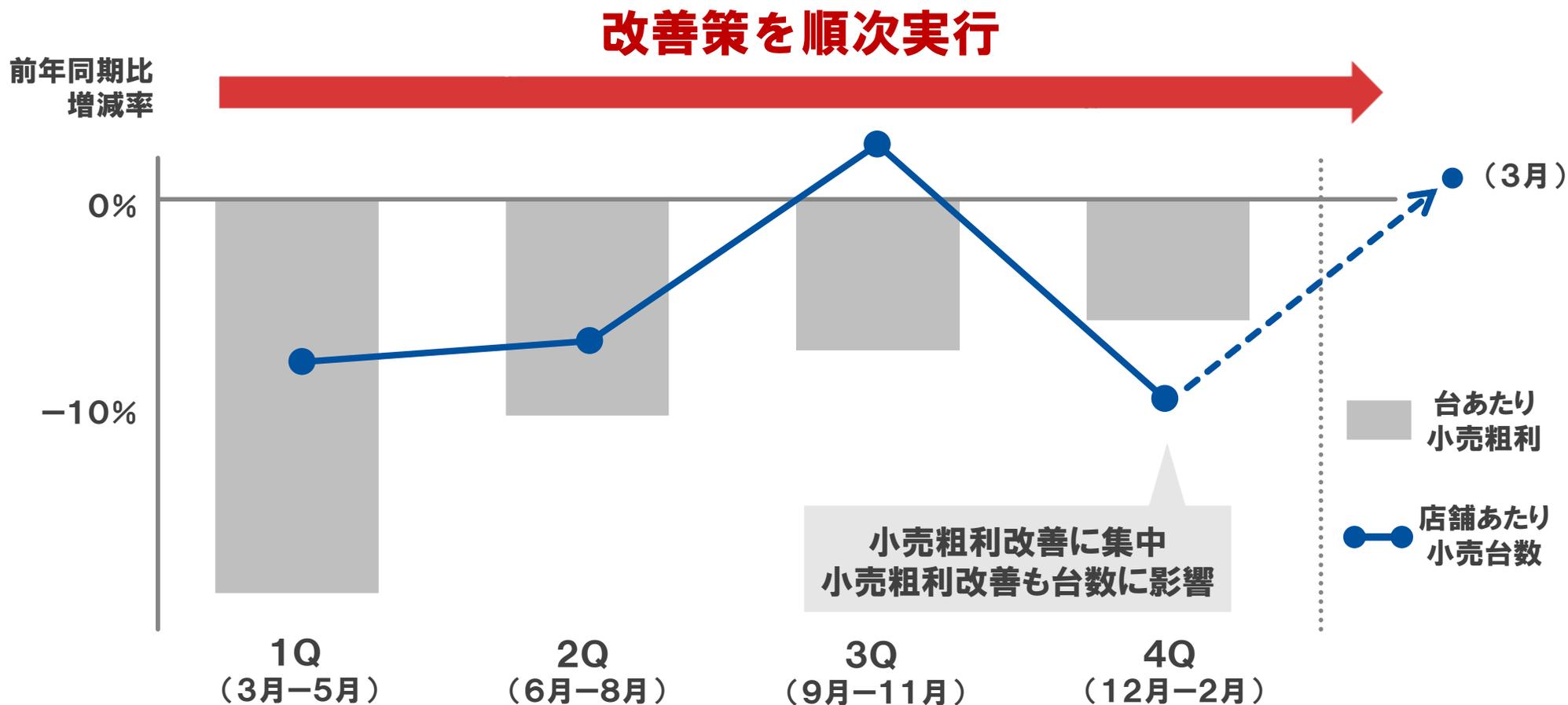
II. 業績の詳細

1 IDOM(個別)

2 豪州子会社

当期の状況（商品設計変更の影響）

- 4月後半に商品設計を変更、店舗あたり小売台数、台あたり小売粗利が減少して推移



概要

台あたり小売粗利(車両粗利+付帯収益)の設計を変更



※付帯収益:
付帯的な商品や
サービスからの収益

- ・オートローン
- ・自動車保険
- ・保証
- ・メンテナンスパック
- ・ガラスコーティング
- ・パーツ
- ・ナビ
- ・ドライブレコーダ 等

4月後半～ 車両価格に含まれていた付帯的な収益の一部をオプション化。

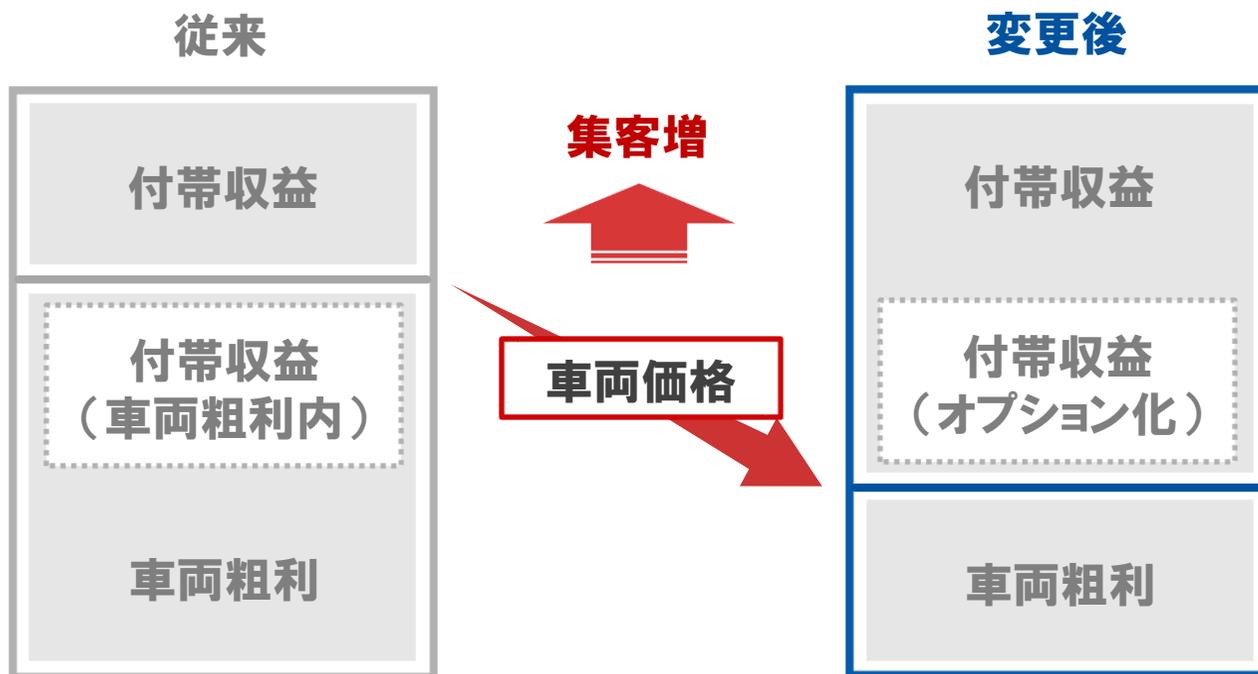
商品設計変更 目的と背景(1)

目的

価格訴求による集客と
小売台数増加

背景

インターネットで価格比較する
消費者行動は増加する



従来車両価格に含まれていた付帯的な商品の一部をオプション化することで、車両本体の価格訴求力が高まる。これにより特にインターネット経由の集客を増加し、小売台数を高める目的。

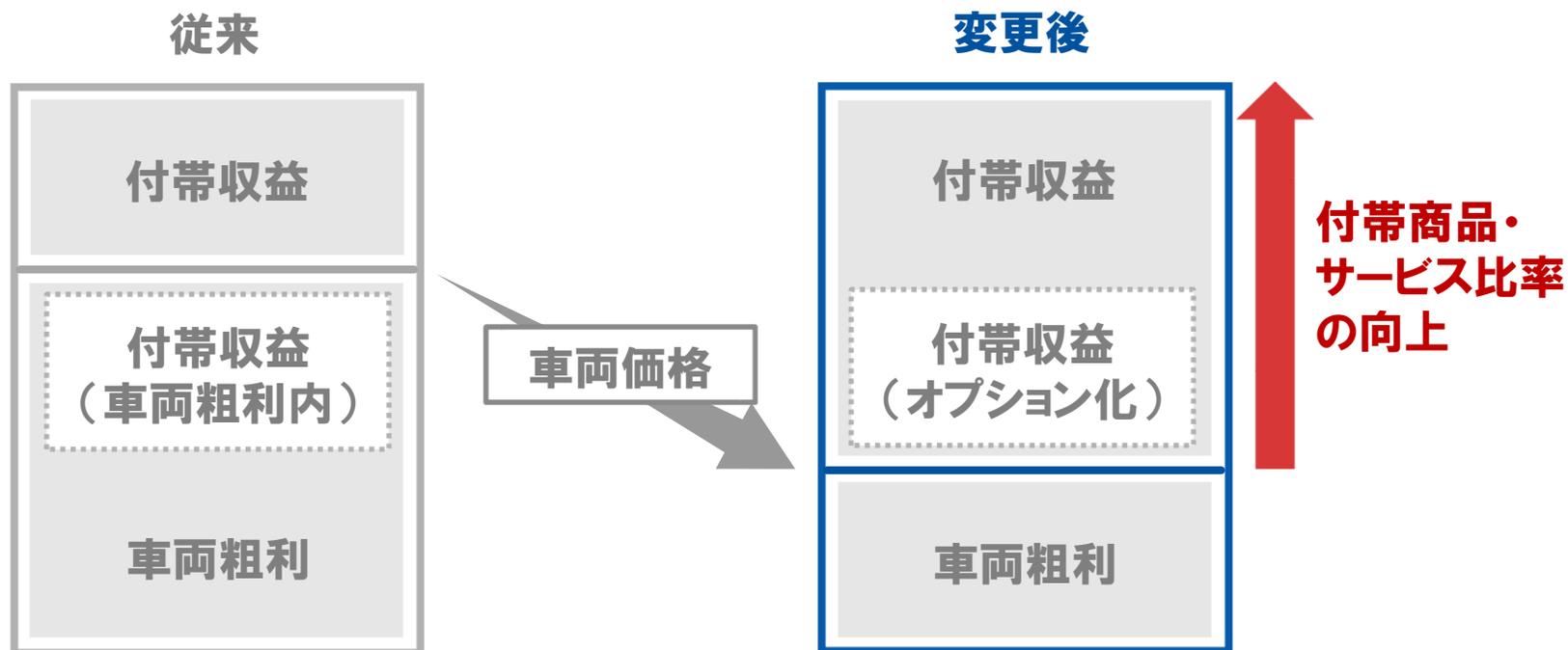
商品設計変更 目的と背景(2)

目的

付帯ビジネス成長

背景

付帯商品・サービスは車両
本体よりもスケールメリットが大きい



2つ目の目的は、付帯商品・サービス比率の向上。中古車の車両自体の仕入れや販売にはスケールメリットが効きにくい、付帯的な収益、商品には高いスケールメリットの効果が期待できる。

商品設計変更 目的と背景(3)

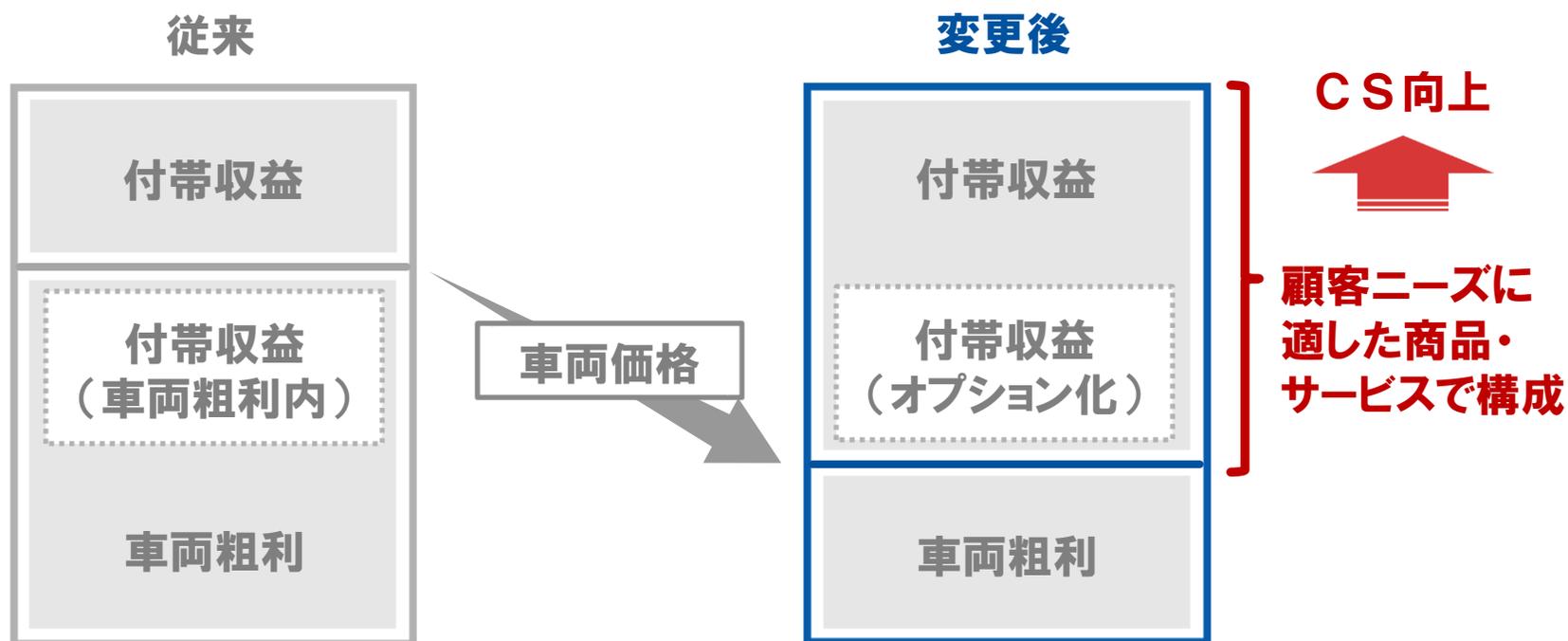
目的

CS※向上による
リピート、他サービスへの
取り込み

背景

顧客ニーズの変化

※CS=Customer
Satisfaction の略



顧客ニーズに合わせて付帯商品・サービスを提案することでCS(顧客満足度)を向上させる。リピート率増加や、他サービスへの取り込みを目指す。

当期に起きた課題と実施してきた改善策

当期課題

集客増加に成功も成約率が減少し、**店舗あたり小売台数が減少**
付帯収益の獲得減により、**台あたり小売粗利が減少**

原因

① 詳細な設計が不十分

- 低価格車両とのミスマッチ
- エリア別・個店別の対応不足

② 導入プロセスに課題

- 不十分な教育・トレーニングにより商談にバラつき
- 現場への意識浸透に遅れ

改善策

- 商品価格帯・エリアに合わせた設計を順次実行
- エリアマーケティングの強化
- 付帯促進キャンペーン実施

- 標準化ツールの整備
- インセンティブ設計による意識向上
- トレーニングの充実
- 経験・知識も徐々に改善

- 将来の成長のため、今後も改善策を順次実行し、目的を達成していく

目的

価格訴求による集客と
小売台数増加

付帯ビジネス成長

CS向上によるリピート、
他サービスへの取り込み

成長機会
創出

背景

インターネットで価格比較する
消費者行動は増加する

付帯商品・サービスは車両本体より
もスケールメリットが大きい

顧客ニーズの変化

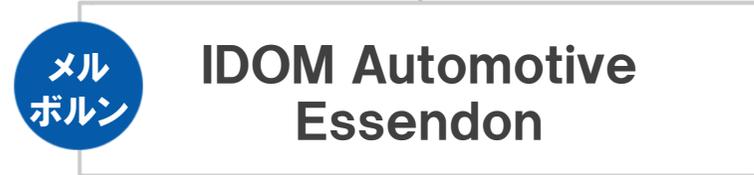
1 IDOM(個別)

2 豪州子会社

IDOM Inc.



西オーストラリア州(パース)
新車ディーラーグループ
(2015年10月買収)



ヴィクトリア州(メルボルン)
新車ディーラーグループ
(2018年10月買収)

※2019年2月期第3四半期末にBSのみ連結
第4四半期にPL連結(5か月分)

- Buickは前期比改善、Essendonを新規連結

2018年2月期

2019年2月期

Buick

営業利益

(のれん償却額差引前)

△765百万円

206百万円

のれん償却額

423百万円

399百万円

Essendon

営業利益

(のれん償却額差引前)

295百万円^{※1}

のれん償却額

123百万円^{※1}

※1 2018年10月～2019年2月の5ヶ月間

西オーストラリア子会社のBuick Holdings(DVG)は、概ね計画通り着地し、前期比改善。
メルボルン子会社Essendon新規連結(5ヶ月間)。

III. 2020年2月期業績予想

2020年2月期（業績予想）

[個別] 予想の前提：**前期並み（改善効果を織り込まない保守的ライン）**

	2019年2月期	2020年2月期 (予想)
個別 売上総利益	527.7億円	538.0億円
販管費	500.1億円	510.0億円
営業利益	27.5億円	28.0億円
.....		
連結 営業利益	34.0億円	37.0億円

[連結] 予想の前提：**豪州新規子会社(Essendon)分のみ反映**

2019年2月期

5ヶ月間



2020年2月期

(予想)

12ヶ月間

[個別] 予想の前提

- 改善効果を織り込まず、前期並みで推移する場合の保守的前提

店舗あたり小売台数	-----> 前期並み
台あたり小売粗利	-----> 前期並み
その他要因	-----> 変動なし

配当方針

業績連動型配当

配当金 決定方法

原則として、**前期**の連結当期純利益×30%を計算し、当期の配当金額を決定する。**(2017年2月期末から変更)**

1株当たり配当金の状況

(単位:円)

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期 (計画)
第2四半期末	3.50	5.50	0.60
期末	3.50	5.50	0.60
年間	7.00	11.00	1.20



2019年2月期
連結当期純利益を
ベースに決定

**今期は足場固めを
着実に進めていきます。**

IV. 補足資料（1）

リターンの質向上

- 利益拡大と、運転資本(在庫)および投資(店舗)の効率改善により、リターンの質を向上させる

1 利益拡大に向けた9つの取り組み

2 在庫効率と店舗効率の改善

拡大

営業利益

店舗

在庫

効率改善

1 利益拡大に向けた9つの取り組み

2 在庫効率と店舗効率の改善

利益拡大に向けた9つの取り組み

- 小売ビジネスでの成長と、その基本方針は変わらない

小売台数


1. 新規出店



2. 集客力



3. 成約率



**台あたり
粗利**


4. 価格設定の最適化



5. 付帯収益



6. 高粗利商品の仕入れ



販管費
(出店分の増加以外)


7. 店舗あたり運営コスト



8. 広告宣伝費



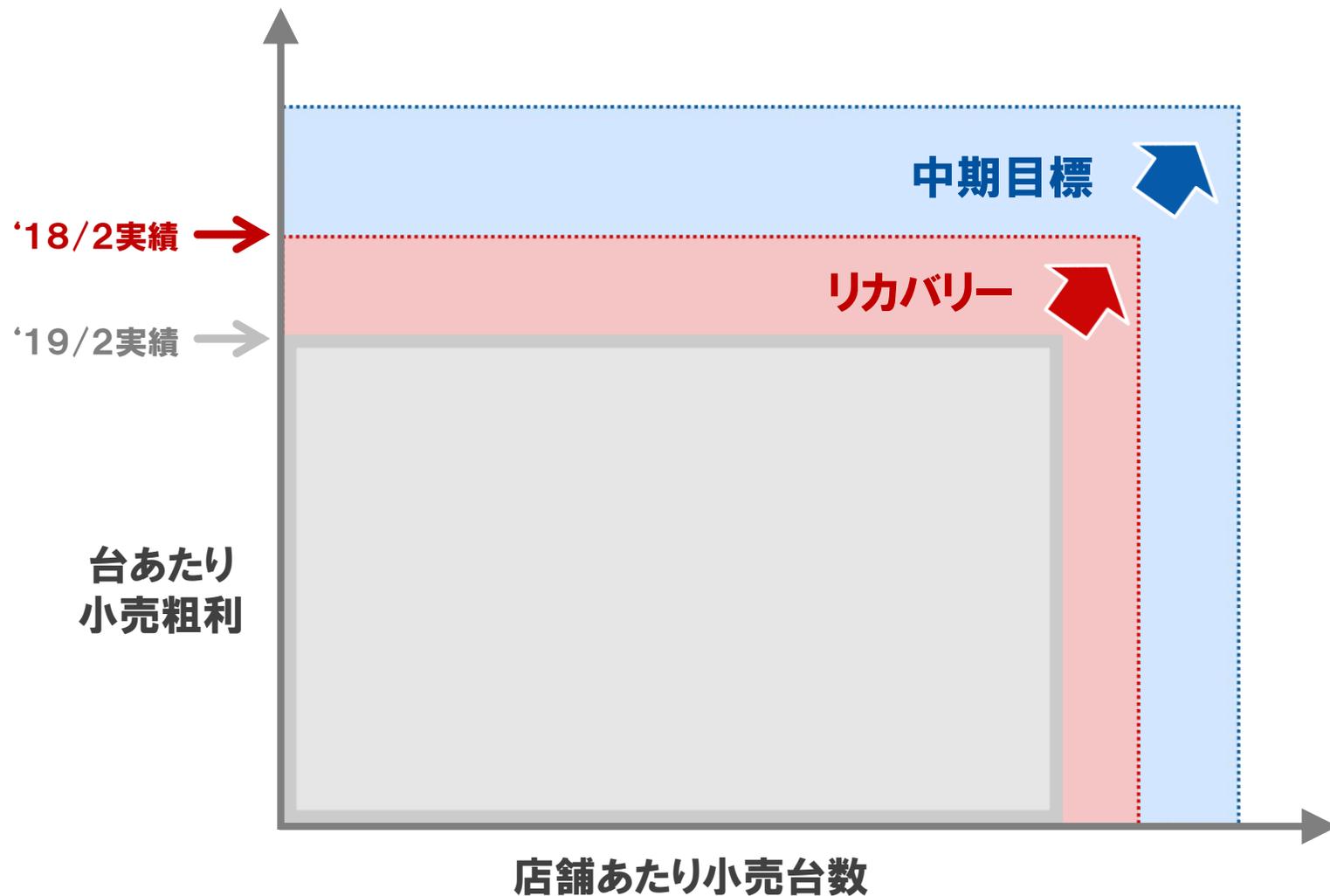
9. 本部コスト



継続

重点取り組み 小売粗利の改善

- まずは小売粗利総額を2018年2月期並みに戻す



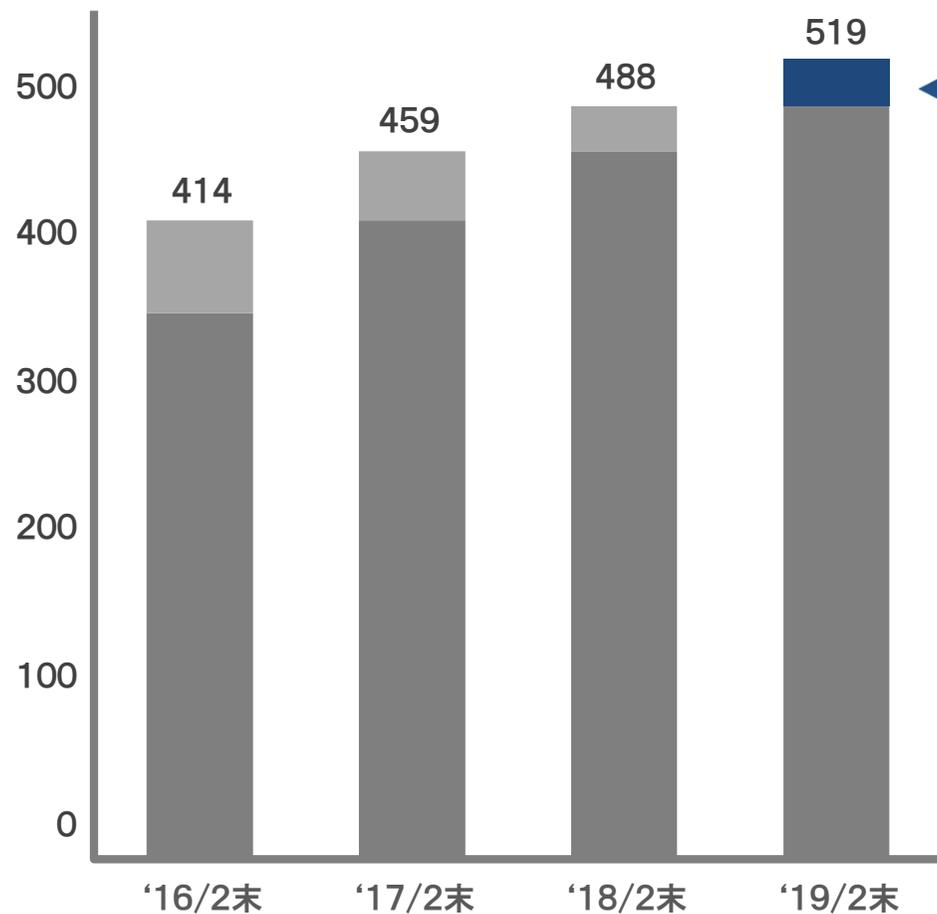
1 利益拡大に向けた9つの取り組み

2 店舗効率と在庫効率の改善

2019年2月期 店舗数の状況

直営店舗数

(単位:店)

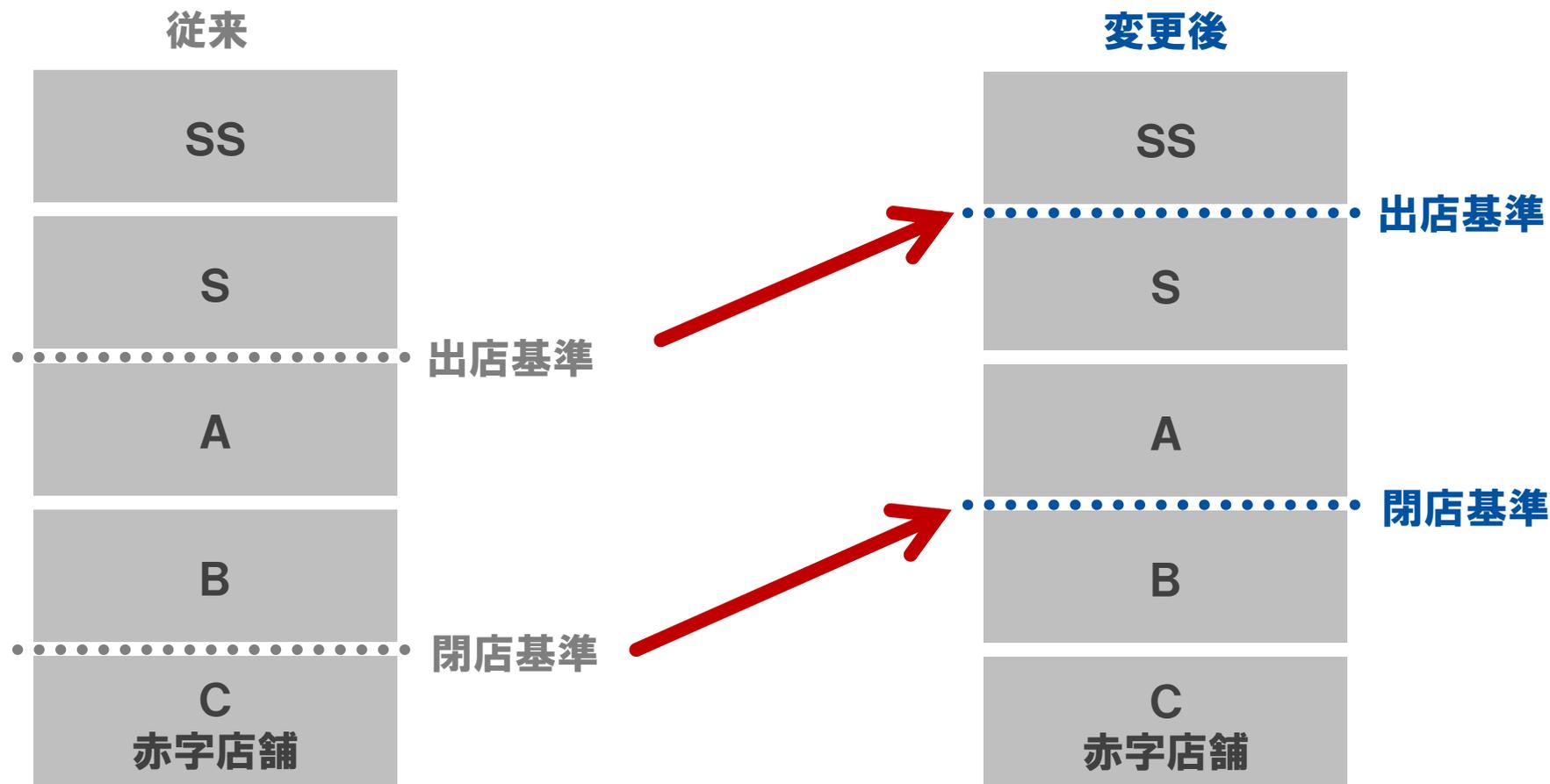


	実績	期初計画
[出店]	40	32
[クローズ]	9	

◀ [純増] **31**

出店基準・閉店基準の見直し

- 出店、閉店ともに収益性基準を引き上げる



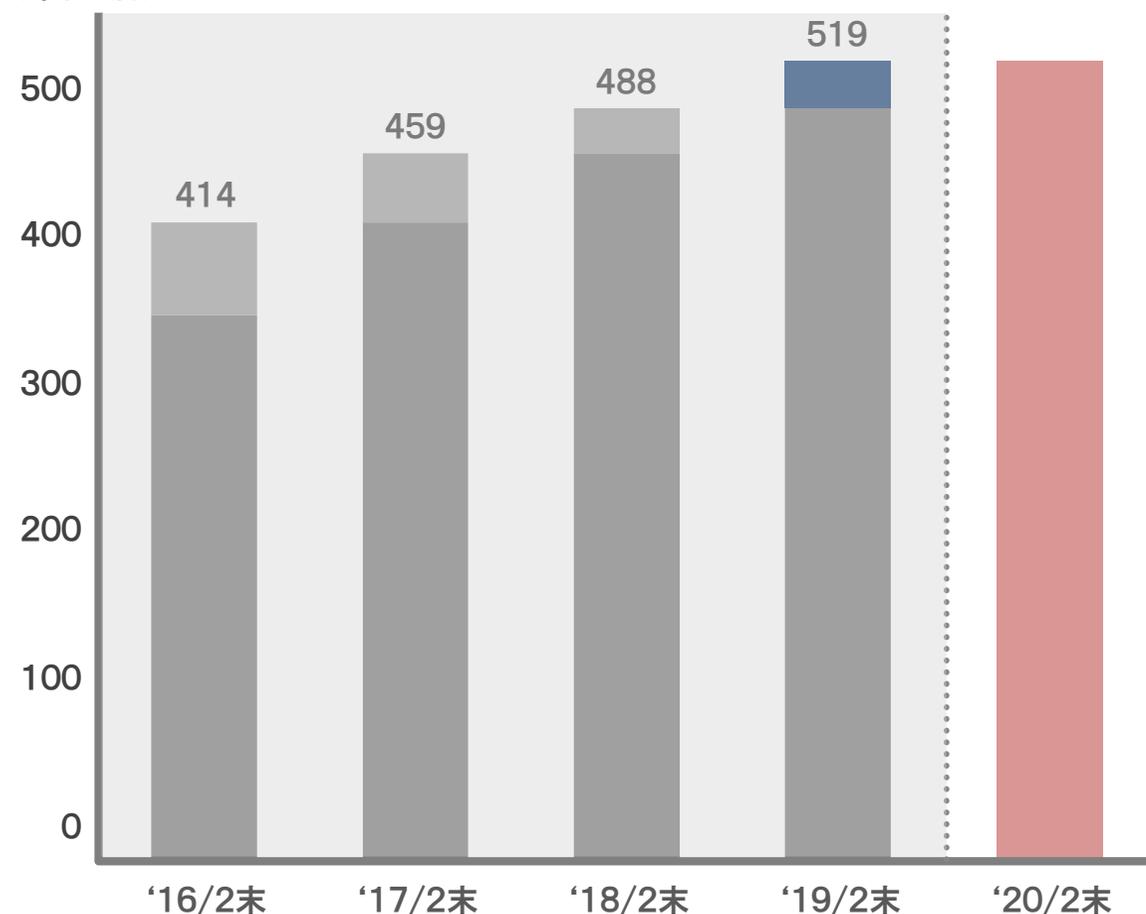
出店基準の厳格化により今期の新規出店数は減少の見込み。また、収益性の低い店舗は黒字でもクローズを検討。投資額と運転資本(在庫)に対するリターンの質を高めることが目的。

2020年2月期 店舗数の見込み

● 店舗基準を引き上げ、出店減・クローズ増を想定

直営店舗数

(単位:店)



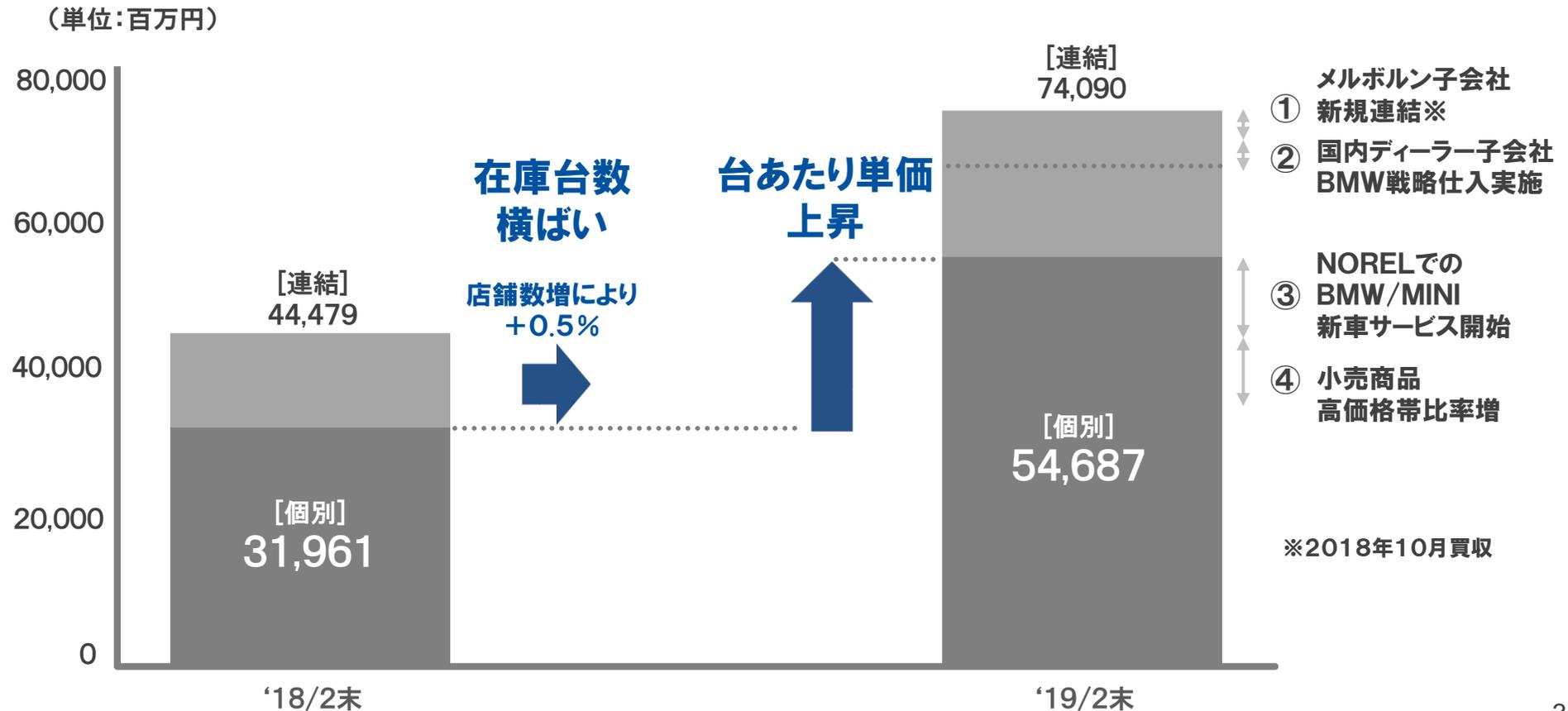
	計画
[出店]	20
[クローズ]	20

◀ [純増] 0

2019年2月期 在庫の状況

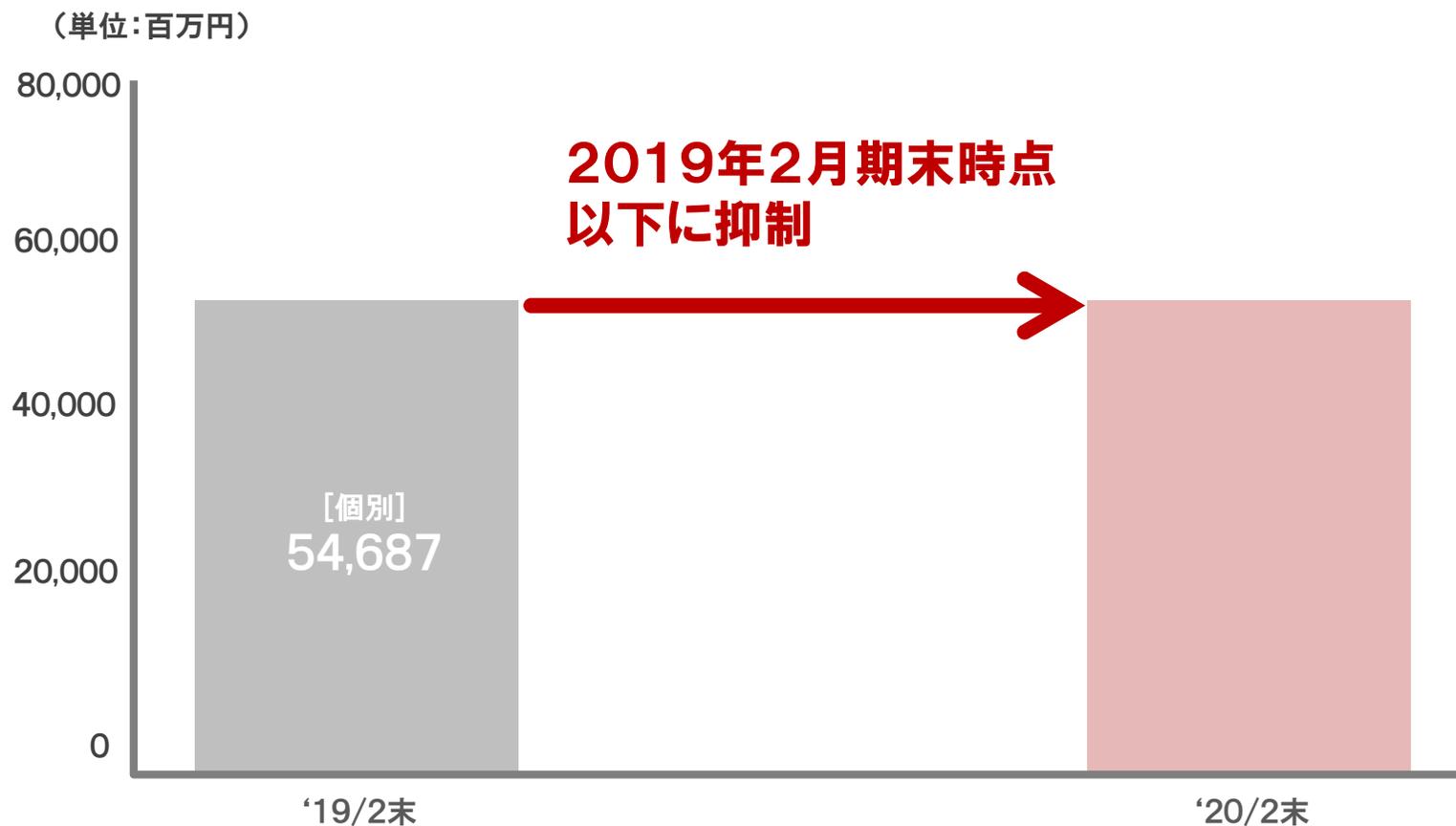
- 個別では在庫台数は前期末比で横ばいも、NOREL新車サービス等により総額が増加

商品（個別・連結）



在庫効率の見直し 2020年2月期在庫の見直し

- 今期は、一定水準(2019年2月期末時点の規模以下)に抑制



V. 補足資料（2）

[連結・個別] 損益計算書

通期(連結)	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		2020年2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	251,516	100.0	276,157	100.0	309,410	100.0	324,000	100.0	14,589	4.7
売上原価	190,383	75.7	210,298	76.2	244,707	79.1	256,200	79.1	11,492	4.7
売上総利益	61,133	24.3	65,859	23.8	64,702	20.9	67,800	20.9	3,097	4.8
販売費及び一般管理費	56,634	22.5	59,080	21.4	61,301	19.8	64,100	19.8	2,799	4.6
営業利益	4,498	1.8	6,779	2.5	3,400	1.1	3,700	1.1	300	8.8
経常利益	4,160	1.7	5,797	2.1	2,072	0.7	2,200	0.7	128	6.2
税金等調整前当期純利益	3,692	1.5	5,221	1.9	1,478	0.5	1,600	0.5	122	8.3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,247	0.9	3,578	1.3	381	0.1	420	0.1	39	10.2

通期(個別)	2017年2月期		2018年2月期		2019年2月期		2020年2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	198,434	100.0	215,777	100.0	234,618	100.0	234,700	100.0	81	0.0
売上原価	147,268	74.2	160,057	74.2	181,847	77.5	180,900	77.1	△947	△0.5
売上総利益	51,166	25.8	55,720	25.8	52,770	22.5	53,800	22.9	1,029	2.0
販売費及び一般管理費	46,632	23.5	48,797	22.6	50,018	21.3	51,000	21.7	982	2.0
営業利益	4,534	2.3	6,922	3.2	2,751	1.2	2,800	1.2	49	1.8
経常利益	4,649	2.3	6,851	3.2	2,673	1.1	2,700	1.2	27	1.0
税引前当期純利益	3,858	2.0	6,158	2.9	1,707	0.7	1,750	0.7	43	2.5
当期純利益	2,558	1.3	4,324	2.0	933	0.4	970	0.4	37	4.0

[連結・個別] 損益計算書(第2四半期累計)

第2四半期累計(連結)	2017年2月期 第2四半期累計		2018年2月期 第2四半期累計		2019年2月期 第2四半期累計		2020年2月期 第2四半期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	124,244	100.0	135,468	100.0	143,937	100.0	162,000	100.0	18,062	12.5
売上原価	94,539	76.1	103,654	76.5	113,771	79.0	128,100	79.1	14,328	12.6
売上総利益	29,704	23.9	31,813	23.5	30,165	21.0	33,900	20.9	3,734	12.4
販売費及び一般管理費	27,532	22.2	29,285	21.6	29,719	20.6	32,050	19.8	2,330	7.8
営業利益	2,172	1.7	2,528	1.9	445	0.3	1,850	1.1	1,404	315.0
経常利益	2,020	1.6	2,032	1.5	△106	—	1,100	0.7	1,206	—
税金等調整前四半期純利益	1,789	1.4	1,876	1.4	△281	—	800	0.5	1,081	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,102	0.9	1,121	0.8	△598	—	210	0.1	808	—

第2四半期累計(個別)	2017年2月期 第2四半期累計		2018年2月期 第2四半期累計		2019年2月期 第2四半期累計		2020年2月期 第2四半期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	96,200	100.0	107,606	100.0	110,589	100.0	117,350	100.0	6,760	6.1
売上原価	71,544	74.4	80,764	75.1	85,959	77.7	90,450	77.1	4,490	5.2
売上総利益	24,655	25.6	26,841	24.9	24,630	22.3	26,900	22.9	2,269	9.2
販売費及び一般管理費	22,487	23.4	24,132	22.4	24,337	22.0	25,500	21.7	1,162	4.8
営業利益	2,167	2.3	2,709	2.5	293	0.3	1,400	1.2	1,106	376.9
経常利益	2,102	2.2	2,489	2.3	95	0.1	1,350	1.2	1,254	1,320.0
税引前四半期純利益	1,904	2.0	2,367	2.2	△162	—	875	0.7	1,037	—
四半期純利益	1,343	1.4	1,504	1.4	△391	—	485	0.4	876	—

[連結] 貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2018年2月28日)	当連結会計年度末 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,763	23,049
受取手形及び売掛金	5,709	6,774
商品	44,479	74,090
繰延税金資産	1,037	1,076
その他	3,203	9,043
貸倒引当金	△239	△93
流動資産合計	76,955	113,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,602	36,130
減価償却累計額	△11,445	△13,141
建物及び構築物(純額)	21,156	22,988
車両運搬具	64	167
減価償却累計額	△15	△29
車両運搬具(純額)	48	137
工具、器具及び備品	4,332	4,333
減価償却累計額	△3,446	△3,481
工具、器具及び備品(純額)	886	852
土地	218	218
建設仮勘定	777	541
有形固定資産合計	23,088	24,738
無形固定資産		
ソフトウェア	2,981	2,797
のれん	8,927	13,832
その他	3,688	3,301
無形固定資産合計	15,597	19,931
投資その他の資産		
投資有価証券	45	191
関係会社株式	2,150	2,261
長期貸付金	211	38
敷金及び保証金	5,541	6,083
建設協力金	5,643	5,753
繰延税金資産	504	531
その他	746	741
貸倒引当金	△304	△116
投資その他の資産合計	14,539	15,485
固定資産合計	53,225	60,155
資産合計	130,181	174,097

	前連結会計年度末 (2018年2月28日)	当連結会計年度末 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,327	20,026
短期借入金	1,201	9,031
未払金	3,845	3,809
1年内返済予定の長期借入金	—	12,000
未払法人税等	2,029	312
前受金	4,581	11,177
預り金	314	249
賞与引当金	815	820
商品保証引当金	871	562
その他の引当金	315	507
その他	3,597	2,148
流動負債合計	31,901	60,646
固定負債		
長期借入金	52,680	68,023
長期預り保証金	499	432
資産除去債務	2,008	2,279
繰延税金負債	1,008	1,529
その他の引当金	395	561
その他	191	191
固定負債合計	56,784	73,017
負債合計	88,686	133,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	36,373	35,842
自己株式	△3,947	△3,947
株主資本合計	40,615	40,084
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	323	△243
その他の包括利益累計額合計	323	△243
新株予約権	3	3
非支配株主持分	551	588
純資産合計	41,494	40,432
負債純資産合計	130,181	174,097

[連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,632	6,989	△19,593
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,262	△5,315	△11,015
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	18,092	8,731	30,930
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△19	△114
V. 現金及び現金同等物の増減額	5,214	10,387	206
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	9,122	14,337	22,763
VII. 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	—	△1,960	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	14,337	22,763	22,970

新規出店(3月-2月)



(ガリバー展示販売モデル店舗)

七尾
石川県七尾市



中津
大分県中津市



瑞穂
東京都西多摩郡



登別室蘭
北海道登別市



筑西
茨城県筑西市



大村
長崎県大村市



唐津
佐賀県唐津市



武雄
佐賀県武雄市



佐久
長野県佐久市



八女
福岡県八女市



香春
福岡県田川郡



洲本パイパス
兵庫県洲本市



東雁来
北海道札幌市



八王子みなみ野
東京都八王子



浜松宮竹
静岡県浜松市



新規出店(3月-2月)

松江玉湯
島根県松江市



伊勢
三重県伊勢市



益田ゆめタウン
島根県益田市



むつ
青森県むつ市



東山崎
香川県高松市



札幌清田
北海道札幌市



8号越前
福井県越前市



人吉サンロードシティ
熊本県球磨郡



舞鶴
京都府舞鶴市



熊本八代
熊本県八代市



東大阪
大阪府東大阪市



イオンタウン読谷
沖縄県中頭郡



リベラーラ仙台
宮城県仙台市



リベラーラ青森
青森県青森市



新規出店(3月-2月)

Gulliver
OUTLET

OL新潟桜木インター
新潟県新潟市



OL石巻
宮城県石巻市



OL8号燕三条
新潟県三条市



OL岸和田和泉インター
大阪府和泉市



OL米沢
山形県米沢市



OL外環河内長野
大阪府河内長野市



OL7号バイパス青森
青森県青森市



OL野々市
石川県野々市市



OL8号彦根
滋賀県彦根市



OL薩摩川内
鹿児島県薩摩川内市



OL八千代
千葉県八千代市



株式会社IDOM

設立:1994年

上場:1998年

直営店舗数:519店

加盟店:69店

(2019年2月末現在)

主なグループ会社

(国内)

- [BMW/MINIディーラー]
モーターレングローバル
モーターレングランツ
- 東京マイカー販売

(海外)

- [オーストラリア]
Buick Holdings(DVG)
IDOM Automotive Essendon
- [ニュージーランド]
Gulliver International New Zealand
- [米国]
Gulliver U.S.A.、GulliverEAST

IDOM直営小売台数

124,527 台

2019年2月期実績

国内グループ総買取台数※

229,141 台

2019年2月期実績

連結従業員数

4,386 名

2019年2月末現在

※IDOM直営店及びIDOMが100%出資する連結子会社のうち国内の主要な子会社における買取台数。法人からの買取・仕入を含む。廃車は除く。FC店の買取台数は除く。グループ内仕入は除く。